

2020年8月24日

蕨市長 頼高英雄 様

日本共産党蕨市議会議員団

鈴木 智 山脇紀子  
宮下奈美 武下 涼

### 新型コロナウイルス感染症の対策に関する緊急申し入れ

日頃より市民の暮らしを支える「あったか市政」を推進していただいていることに、心から感謝を申し上げます。

さて、8月に入っても新型コロナウイルス感染症の拡大傾向は継続し、市内では昨日までに51件、今月だけで22件もの感染事例が報じられるなど、市民の中にも不安が広がっています。国、都道府県、市区町村が、それぞれの立場から感染防止に向けた万全の対策に全力をあげてほしい、というのは国民の願いです。しかし、この間の国の対応については、様々な世論調査結果にも表れている通り、決して十分なものとはいえません。

日本共産党は7月28日に安倍晋三首相に対して、新型コロナウイルス感染症の急拡大を抑止するためにPCR等検査を大規模に拡充することなどを求める緊急の申し入れを行いました。申し入れは、「(感染拡大を)抑止するには、PCR等検査を文字通り大規模に実施し、陽性者を隔離・保護する取り組みを行う以外ない」として、(1)感染震源地(エピセンター)を明確にし、その地域の住民、事業所の在勤者の全体に対してPCR等検査を実施すること、(2)地域ごとの感染状況の情報を住民に開示すること、(3)医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員等への定期的なPCR検査を行うこと、(4)検査によって明らかになった陽性者を隔離・保護・治療する体制を緊急につくり上げること、の4点を要請しています。「緊急申し入れ」の本文は別紙で同封させていただきました。この機会にご覧いただければ幸いです。

頼高市長におかれましては、感染防止と暮らしを支える立場から、すでに3回にわたり緊急対策を発表され推進していただいているところですが、国・県とともにより実効性のある感染防止策がとられるよう、以下の点につきまして申し入れさせていただきます。

- ① 日本共産党の「緊急申し入れ」について、国・県に対し推進するよう要望してください。
- ② 市役所庁舎など市内における感染防止対策を徹底してください。特に、市立病院、小中学校、保育施設、介護施設など、感染リスクの高い職場で働く職員が定期的にPCR等検査を受けられるよう、市としても対応を検討してください。
- ③ 市民がPCR等検査や必要な医療を受けることができるよう、蕨市としても体制の整備や実施機関への支援などの努力をお願いします。特に、市立病院が感染防止や医療において積極的役割を果たすよう要望します。

以上